

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回 藤岡地域会議
開催日時	令和5年7月25日午後6時30分開会・午後8時38分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	<p>(1) 脱炭素先行地域づくり事業について（総合政策部カーボンニュートラル推進課意見聴取）</p> <p>(2) 本年度実施地域予算提案事業（藤岡中型バスラッピング事業）について（藤岡地域づくり推進課）</p> <p>(3) 「藤岡地域まちづくりアンケート」（中学生向け）集計結果について</p> <p>(4) 地域予算提案事業について</p> <p>(5) その他</p>
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
<p>◎会長 ○カーボンニュートラル推進課</p> <p>◎A委員 ○カーボンニュートラル推進課</p>	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 片柳会長よりあいさつがあった。</p> <p>3 議事 (1) 脱炭素先行地域づくり事業について &lt;説明&gt; 担当課に対し、説明を求めた。 資料に基づいて説明した。</p> <p>&lt;質疑・意見等&gt; 藤岡の空き地に太陽光のパネルをつくるということなのか。 現在公募をかけているところで、その共同提案者である民間事業者がどういう取り組みをするのか計画を出していただく、というスタンスです。そのため、太陽光パネルを設置するのか、他の方法で再生可能エネルギーを導入して発電していくのか、（市はそういった計画を）受ける側となっているので、実際何をするのかは分かっていません。ただ、国の方で再生可能エネルギーのポテン</p>

	<p>シャルがどれくらいあるのかを示しており、それによりますと、栃木市はほとんどが太陽光発電であります。他の地域では、水力を使つての発電や風力発電、バイオマス発電とかあるかと思いますが、栃木市についてはほとんどが太陽光発電のポテンシャルが高いと示されておりますので、取り組むとすれば太陽光発電になるのかなというところでは、空き地に太陽光を置くとかそういうことではなく、具体的なことは現段階では不明です。</p>
◎会長	他にあるか。
◎B委員	メガソーラー的なものではなく空いている土地にぽつぽつと置いていくような感じですか。
○カーボンニュートラル推進課	そうですね。ただ太陽光によって発電すればいいというものではなく、その中にさらに1つか2つ別の取り組みをし、地域課題を解決しながら、この地域を活力あるものにしていきましょう、まちづくりを進めていきましょうというのが取り組み内容となっています。単純にメガソーラー設置しました、民間の方に供給しますというものではない。その中に例えば雇用創出のような取り組みがあって、経済の循環というものがあるのであれば、それはそれでいいことになります。
◎会長	他にあるか。
◎C委員	今募集している法人等は、地域新電力というものになるのですか。
○カーボンニュートラル推進課	いいえ。この取り組みをしてくれる地域新電力を含めた全ての事業者になります。
◎C委員	地域新電力とは？
○カーボンニュートラル推進課	事業を進めるにあたって必須の事業者となります。この事業を公募していく中で、そういう事業者が含まれていない場合は、個別に一緒にやっていただけるよう公募後に調整させていただきたいと考えています。
◎C委員	藤岡地域は毎年渡良瀬遊水地内でヨシ焼きが実施されますが、応募するにあたって、ヨシ焼きが脱炭素とかけ離れたことをやっているということで対象外になるとかそういう問題になることはないですか。
○カーボンニュートラル推進課	ヨシ焼きについては、ヨシが成長するときに光合成をして二酸化炭素を吸って成長していきます。そのヨシを燃やして二酸化炭素が排出されるので結果としてプラスマイナスゼロと捉えますので、特に問題はありません。
◎C委員	PPAについてもうちちょっと詳しく説明をお願いします。初期費用、メンテナンス費用をかけずにとあるのですが。
○カーボンニュートラル推進課	今、FIT（固定価格買い取り制度）で自宅の屋根に太陽光パネルを載せている方もいらっしゃいますが、基本的にはそこで発電された電力は電力会社に売電され、そのお宅で使用する電力は電力会社から供給されているかと思えます。このPPAに関しては、発電された電力は、初めに自家消費し、余ったものだけが売られるということになっております。
	PPA事業については、まず皆さんのお宅に事業者が発電パネルを設置いたします。この時の費用は一切かかりません。例えば10年間でしたら10年間その設置した事業者から電気を買っていただきます。その電気は当然ながら再

	<p>生可能エネルギーですので、(電気料金の) 賦課金がかからない形となり、単価はいくらになるか分かりませんが、比較的安く手に入る形となっています。PPA を活用し、事業者が設置したものから買う、それを10年、15年契約など内容によって異なりますが、その後の発電設備は所有者さんのものになるというような形でやっている事業者さんが増えてきています。初期費用がかからない供給の方法となります。余った電力は電力会社に売電してもらいます。自分で発電したものは自分で使うというのが PPA の基本となります。</p>
◎会長	<p>他にあるか。</p>
◎D委員	<p>共同提案となる事業者というのは藤岡町内で太陽光発電をやっている事業者ということですか。</p>
○カーボンニュートラル推進課	<p>この事業者に関しては業種ですかそういうのは一切問いません。やってただけということであれば、その提案書を今募集しているところです。資格を持っているとかこういった業種の方とかそういう縛りは今のところありません。</p>
◎D委員	<p>東京電力の売電の場合は、枠を持っていないと太陽光発電を設置できないと聞きますが、それとはまた違うのですか。</p>
○カーボンニュートラル推進課	<p>昔の売電ですと、東京電力に FIT 契約でどのくらいの量を売電します、という計画を出します。その計画内でないと FIT 単価にはならないというのがありますが、今回は FIT ではなくいわゆる NonFIT というもので固定価格買い取り制度ではない売電方法をとっていただきますので、関係はありません。日光市や那須塩原市なども選定を受けていますが、そういったところは例えば東京電力や東武鉄道といった大きい会社が入っていたりします。そのためこの事業者じゃないといけないということはなく、選定された事業者さんが責任をもって事業を組み立てていきます。当然やるときには下請けの業者さんとか使うと思いますが、それを組み立てていただくという形になります。</p>
◎D委員	<p>遊休農地を使ってやるのもあるし、個人宅の屋根に載せるというのもあるのですか。それを募集するのはまた違うのですか。</p>
○カーボンニュートラル推進課	<p>遊休農地にやるのも一つの手だと思います。また、太陽光に限らず、例えば那須塩原だと、牛糞とかを使ったり、山が多い地域だと木を切って燃やしバイオマスとかもやりますので、色々なことが考えられます。遊休農地も一つの案になります。</p>
◎D委員	<p>藤岡地域の場合は太陽光に絞られているわけですね。</p>
○カーボンニュートラル推進課	<p>太陽光による発電をすることであれば補助金が入ってくるので、ある程度の事業者ならばできますが、一番の問題点はどうそれを地域課題の解決につなげていくかということになります。遊休農地があるということであれば遊休農地に太陽光のパネルを敷きながら活用していき、そこをさらに何かの雇用につなげていったり、空き家対策につなげていく、再生可能エネルギーを教育につなげていくそういったものが必要になってきます。</p>
◎会長	<p>国の政策なので仕方ないと思うのですが、藤岡地域の一番の大きな問題は人口減少、高齢化、それがこの事業によって本当に活性化するような提案がある</p>

<p>○カーボンニュートラル推進課</p>	<p>のかどうか。なぜ藤岡地域が選ばれたかという単純に言えば空いている土地があるという理由があるのではないか。違うかもしれませんが。太陽光発電しかないのだと思うのですが、それに伴う提案があるのかどうかはわかりませんが、本当に藤岡地域の少子高齢化を改善し、活力がある地域づくりに寄与するという国のお題目になじむ提案ができるのだろうかということが一つの疑問です。それと PPA、これも契約ですから、その後は結局個人の負担ですよね。藤岡地域は高齢化が進んでいますから 10 年の間に契約継続が難しいことも起こりうるのではないかと。また、10 年間の契約期間終了後に負担が生じるというのをよく説明しなければならないと思います。無料で設置してしばらく自己負担はないが、なんでもそうですけど古くなればダメになる。その時は自己負担だということをよく説明していかなければ大きな問題になってしまう。3つ目は今公募している締め切りが8月10日、国の締め切りが8月28日ですよね。公募で業者が決まりそれから藤岡地域に説明に入ってわずか2週間で承諾を得られると市は考えているんですか。栃木市のやり方は遅いのではないですか。まず藤岡地域でこういう事業がありますよと全体に知らせたうえで、選定された場合はもしかしたらこうなりますということで地域に説明があればいいんですけど、決まってから、その地域に行ってあなたの地域が選ばれました、公募します応募しますいいですかと、わずか2週間で合意できると市では考えているんですか。その3点お願いしたいんですけど。そういうやり方で問題が起きないんですか。</p> <p>1つ目の人口減少は全国的にも進んでいて、この事業をやれば必ず人口が増えるとは思っておりません。ただその減少スピードを緩めることは可能かと思えます。なぜかといいますと、例えばですが、PPA を設置し多少なりとも電気代が安くなれば各家庭の事情にもよりますが、その地に住み続けようと思う方もいるかもしれません。また、地域の雇用が創出されれば、その地に住み続けようと思う方もいらっしゃるかもしれません。それらを踏まえて地域課題の解決につながるかと捉えています。2つ目に、デメリットを申し上げましたが、市民の方には、どうしても契約が付随してきます。その契約内容によっては、もしかしたら手を挙げずにそのままという方もいらっしゃるかもしれません。これは、この事業をこのエリアで行いますので、必ず皆さんやってくださいというものではなくて、各家庭、個人によっては諸事情があると思いますから、できる方にやっていただくということで進めていきたいと思っています。3つ目になりますが、全員の賛同、合意というのは難しいと考えています。まずはこのエリアでやっていきたいという周知をさせていただき、それに基づいて申請をさせていただきたいと思っています。国のほうでは合意形成は必要になりますが、事業が選定されるまでの過程で、そういったことを進めてもいいというのがあります。内容によっては色々変わってくる可能性があります。最初にこれありきで PPA をやればこれだけ下がります、これだけのメリットがありますよとは事業に取り組む中でどうしても発電量と使用量需要量によって金額など変わってくる可能性もあります。そのため、最初にこれをお願いしますとは言え</p>
-----------------------	---

	<p>ず、最初にこういう事業をやりますというところだけに留めさせていただき ます。その後、だんだん事業の詳細が分かり始めましたら、その都度説明をさせ ていただき、皆さんの合意のもとに、PPA 導入していただける方には判断して いただき、事業を進めていきたいと考えています。</p>
◎会長	<p>ということは業者がきまれば地域の合意がなくとも申請していくというこ とですね。これは選定地域への周知ですよ。</p>
○カーボンニュート ラル推進課	<p>そうですね。</p>
◎会長	<p>藤岡地域が脱炭素先行地域に選定されるということであれば、実施すること によって藤岡地域に有効なものであればやっていただければいいと思う。市 民にとって良い方向になるような事業にしていいただければと思う。</p>
◎E委員	<p>新築で家を建てる時に最初はお金はかかりませんよと住宅メーカーの話で 太陽光を付けたけれども、例えば10年なら10年でどんどん、使っていくと 最初は良かったけれどもたくさん電力が売れなくなったとかいう話を聞きます 。また、10年くらい経つと、太陽光の表面にほこりとかがたまってきたり 傷ついたりしてくるということも聞く。高齢化も進んでくるのでそういうメン テナンスを個人でできないので、最初は良かったけれどやめておけばよかった という話も聞く。良いところばかり説明するのではなく、デメリットという ところを見ると契約終了後は自己管理という風に書いてあるので、実際契約が 終わった時に、それを処分すると何百万もかかるという話を聞くんです。そう いうようなことが実際やった時に、良いこととその後でそういうことがあるか もしれないということも、皆さん納得の上で決めてほしいなと思うんです。知 り合いの人でやらなければよかったというようなことも聞くので、その藤岡地 域だけではなくて、あちこちに太陽光ってすごいできているじゃないですか、 確かにそれはそれでいい面がたくさんあるのかもしれないですけど、何年もた った後のこともちょっと考えて事業を実施していただけたらと思います。</p>
◎会長	<p>市民にとって有効になるよう進めて行って欲しいと思います。他に意見はな いか。</p>
	<p>— 意見等なし —</p>
	<p>議事の終了により、カーボンニュートラル推進課に退席を求め、次の議題に 入ることを述べた。</p>
	<p>— カーボンニュートラル推進課職員は退席 —</p>
	<p>(2) 本年度実施地域予算提案事業（藤岡中型バスラッピング事業）について &lt;説明&gt;</p>
◎会長	<p>事務局に対し、説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。</p>
	<p>&lt;質疑・意見等&gt;</p>
◎会長	<p>現デザインのハートランド城の写真は、ラッピングした際あまりハートラン</p>

	ド城が映らなくなってしまう。別紙の写真に変更してはいいかがか。 — 検討 —
◎会長	ハートランド城が恋人の聖地に認定されたこともあり、別紙の写真がイメージに合うか検討していただけたら。
	— 検討 —
○事務局	ハートランド城と谷中湖が恋人の聖地に認定されたので、渡良瀬遊水地課より「恋人の聖地」の文言を入れて欲しいとの依頼がありました。そういったことから別紙の写真がいいのではないかと提示させていただきました。
◎会長	別紙の写真に変更してよろしいか。 — 意見等なし —
◎D委員	谷中湖の写真はもう少し藤岡地域側が映るようにしてもらえるか。
○事務局	データは藤岡地域がもう少し映っているので業者さんに位置を修正してもらうよう依頼は可能だと思います。
◎F委員	文字部分がもっと目立つよう工夫していただけたら。
○事務局	レイアウトについては業者と調整したい。
◎A委員	二次元コードについてはラッピングして欲しいと前回の会議の際提案したがどちらかといえば車内の座席に配置して欲しい。
○事務局	背面と車内の座席にも二次元コード配置する。
◎会長	変更等は以上でよろしいか。 — 意見等なし —
◎会長	次の議題に入ることを述べた。
	(3)「藤岡地域まちづくりアンケート」(中学生向け)集計結果について <説明>
◎会長	事務局に対し、協議事項の説明を求めた。
○事務局	資料に基づいて説明した。
	<意見等>
◎会長	中学生向けのアンケートの結果は、この後の地域予算提案事業の話し合いに参考にしていただきたい。 — 了承 —
◎会長	次の議題に入ることを述べた。
	(4) 地域予算提案事業について <説明>
◎会長	事務局に対し、協議事項の説明を求めた。
○事務局	資料に基づいて説明した。
	各部会に分かれ検討に入った。

◎会長	次回も引き続き検討し、途中経過を部会ごとに報告をしてもらうことにしたい。
◎会長	次の議題に入ることを述べた。
○事務局	<p>(5) その他</p> <p>まちづくり懇談会ふれあいトークの際質問のあった藤岡地区公民館の跡地利用について情報提供させていただきたい。令和2年度、藤岡地区公民館は公民館課所管の施設で、公民館課が藤岡地域の自治会長にアンケートを取り、議会の承認を得て廃止を決定した。その後、市役所内の組織の変更があり、令和3年度から藤岡地域づくり推進課所管となった。現在は管財課が所管し、売り払いをする予定でいると確認した。</p>
◎会長	他にあるか。
◎G委員	今年度実施事業の1つである渡良瀬運動公園施設改修事業というのがあり、渡良瀬運動公園のベンチが綺麗になったのでぜひご確認ください。
◎会長	他に意見等がないため、以上で(5)その他の協議を終了するとともに次第3の議事を終了することを述べた。
○事務局	<p>8 その他</p> <p>事務局から以下の1点について連絡した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第3回地域会議会議録の写し」について</li> </ul> <p>次回の地域会議は、令和5年8月22日(火)午後6時30分から同会場で行う予定である旨を連絡した。</p> <p>6 閉会</p> <p>午後8時38分をもって第4回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙1 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	片 柳 理 光	委 員	岡 弘 樹
委 員	川 田 優 子	委 員	坂 本 まち子
委 員	田名網 眞 一	委 員	長 竹 香 織
委 員	町 田 茂	委 員	横 田 敦 子
委 員	石 川 淳 子	委 員	大 澤 孝 子
委 員	伊 勢 智 恵	委 員	手呂内 彩 名

欠席者（委員）

副会長	進 上 一 巳	委 員	福 地 克 人
委 員	阿 部 多佳子		

出席者（事務局）

地域振興部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

田 中 正 和（課長）	田 中 徹（副主幹兼地域づくり推進係長）
北 村 あゆみ（地域づくり推進係主査）	

総合政策部カーボンニュートラル推進課

深 津 勝（課長）	岩 崎 和 隆（副主幹兼カーボンニュートラル推進係長）
小 野 彰 義（カーボンニュートラル推進係主査）	